

第3学年道徳科学習指導案

日 時 令和〇年〇月〇日 (〇) 〇校時

場 所 3年〇組教室

授業者 〇 〇 〇 〇

1 主題名 個性や立場を尊重すること「B-(9)相互理解, 寛容」

2 ねらいと教材

(1) ねらい

個性や立場を尊重し, いろいろなものの見方や考え方があることを理解しようとする道徳的実践意欲と態度を育てる。

(2) 教材名

「しあわせ」(東京書籍 新しい道徳3)

3 主題設定の理由

(1) ねらいや指導内容についての教師の捉え方

本主題は, 中学校学習指導要領特別の教科道徳, 内容項目B-(9)「相互理解, 寛容」の「自分の考えや意見を相手に伝えるとともに, それぞれの個性や立場を尊重し, いろいろなものの見方や考え方があることを理解し, 寛容の心をもって謙虚に他に学び, 自らを高めていくこと」を受けている。

人間関係を築き, 相互理解を深めるためには, 自分の考えや意見を人に伝えることが欠かせない。中学校の段階は, 自分の考えや意見を伝えることの大切さを感じる機会が増えるとともに, 相手の立場に立ってその考えや意見を聴くことで, 真の相互理解が可能になることを少しずつ経験していく時期である。学年が上がるにつれて, ものの見方や考え方が確立するとともに, 自分の考えや意見に固執する傾向も見えてくる。個性とは何かについて正しく理解し, 他に同調するのではなく, 自分の考えや意見を伝えること, 互いの個性や立場を尊重し, 広い視野に立っていろいろなものの見方や考え方があることを理解しようとする態度を育てることが大切であると考え, 本主題を設定した。

(2) 生徒のこれまでの学習状況や実態

本学級の生徒は, 周囲とコミュニケーションを図りながら諸活動に取り組むことができる生徒が多い。授業中に分からないことがあると, 意欲的に教え合う姿が見られる。苦手なタイプの友達にも, 距離を上手に取って関わろうとしている。しかし一方で, 交友関係が狭く, 一部の友達とだけの関わりになってしまっている生徒もいる。また, 他愛もない会話をすることができても, 自分の思いを伝える事が苦手で, 自分の考えや行動に自信を持たない生徒も多い。

生徒は中学校1年生の「落語が教えてくれたこと」, 2年生の「遠足で学んだこと」の授業において, 「個性について正しく理解すること」, 「誰もが様々な立場に立って個性を發揮することの良さを理解すること」について学習している。これまでの学習内容を更に発展させ, 本時の学習では「それぞれの個性や立場を尊重すること」, 「いろいろなものの見方や考え方があること」まで考えさせたい。また, 個性や立場を尊重することで, みんなが自分らしく安心して生活することにつながることに気付

かせたい。さらに、「心にしみこむ”言葉の力” 一池上彰」の授業において扱う、「相手や場面が変わっても寛容の心をもち謙虚に学ぶことが人間として成長に役立つことを理解すること」につなげたい。

(3) 使用する教材の特質

本教材は、タマゴマンのクラスで給食の時間に起きた出来事を通して、相互理解について考えさせることができる教材である。中学校1年生の「忘れ物」、中学校2年生の「あいさつ」に続くシリーズであり、生徒にとって馴染みのある、読みやすい教材である。

ある日の給食のメニューはマーボー豆腐だった。タマゴマンの友達のアナゴマンの1番好きな食べ物である。アナゴマンにとっては大好物で、「しあわせ」を感じていたのだが、クラスメートのタマゴマンにとって豆腐料理は1番苦手な食べ物であった。担任の先生が宮沢賢治の「世界中が幸福にならない限り個人の幸福はありえない」という言葉を紹介したことから、「しあわせ」の考え方についてそれぞれの考え方や意見を交流させていくという話である。

給食の時間におけるタマゴマン達の会話を通して、「個性を理解することの大切さ」や「いろいろなものの見方や考え方があること」に気付かせることができ、宮沢賢治の言葉を通して、個としての考え方だけでなく全体に目を向けた考え方をさせることができる教材である。

(4) 指導観

本時の指導に当たっては、授業中に生徒が考える時間を確保するために、事前に教材を読ませ、内容を理解させる。生徒にとって馴染みやすいキャラクターが出てくるので、絵や吹き出しを用いて構造的な板書にすることで、様々な立場や考えがわかるように工夫したい。

それぞれの考えを受け入れることについて考える活動を中心場面とし、自分との関わりの中で相互理解について考えさせることを意識して授業を展開したい。また、自分とは違う立場の意見について考えさせるための問い返しの発問や、個の尊重と相互理解について考えさせるための問い返しの発問を複数用意し、多面的・多角的な考えを引き出すことを意識して授業を展開することで、個性や立場を尊重することの大切さ、いろいろなものの見方や考え方があることに気付かせたい。

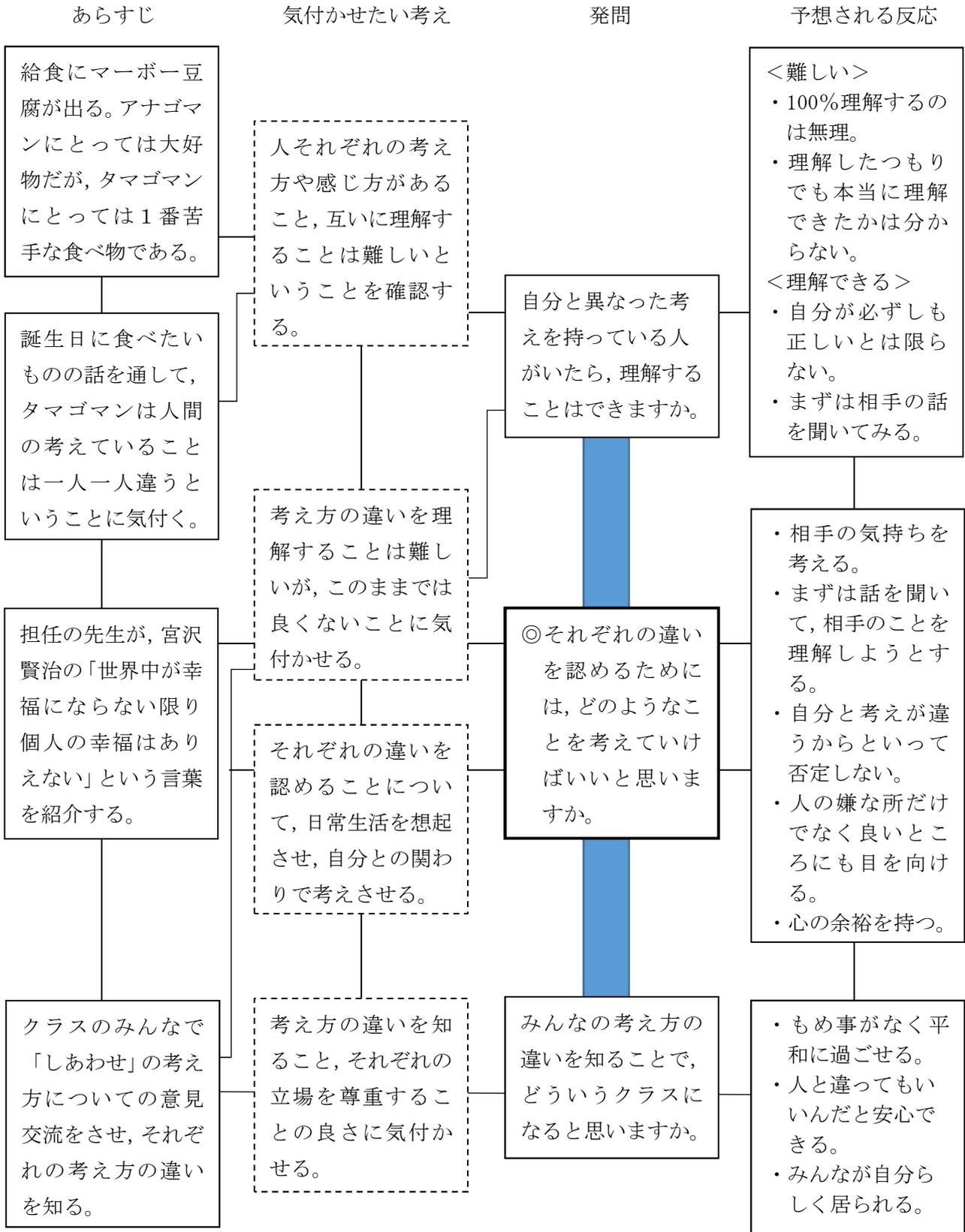
生徒の学習状況を見取るために、ワークシートとともに、座席表と板書の記録を活用する。机間指導で生徒の考えを把握すること、他の生徒の発言に対する反応を見取ることを目的に座席表を活用する。また、生徒の発言や思考の流れが分かる板書構成にし、授業後に写真を撮って振り返ることで、生徒の変容を見取る一助とする。特に、「自分と違った考えを理解することは難しいことなのでしょうか」の発問で、スケールとネームカードを使って立ち位置を明確にさせる際に、板書の写真を記録することで、生徒の考えを把握し、変容を見取りたいと考える。

4 教材分析・発問構成 . . . 別紙

5 学習指導過程 . . . 別紙

6 他の教育活動との関連 . . . 別紙

(別紙) 4 教材分析・発問構成



(別紙) 5 学習指導過程

	学習活動	○主な発問 (◎中心的な発問) ●補助発問 ・生徒の反応	指導上の留意点
導入 5分	<p>1 本時のねらいとする道徳的価値についての問題意識を持つ。(一斉)</p> <p>2 課題をつかむ。(一斉)</p>	<p>○あなたにとって、「しあわせ」だと思えるのはどんな時ですか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・寝ている時。 ・ゲームをしている時。 ・部活動をしている時。 ・好きな音楽を聞いている時。 	<p>「しあわせ」だと思えることについて、人それぞれの考え方や感じ方があることを確認し、本時の課題に対して問題意識を持たせる。</p> <p>(問)(自)</p>
展開 35分	<p>3 範読を聞き、登場人物と、それぞれの考えを捉える。(一斉)</p> <p>4 人それぞれの考え方や感じ方があること、互いに理解することは難しいということを確認する。(一斉)</p> <p>5 人それぞれの考え方や感じ方の違いを理解することについて、自分との関わりで考える。(一斉)</p>	<p>○給食の時間の会話から、タマゴマンはどんなことを発見しましたか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人間が考えていることは人それぞれ違う。 ・小さなことでも考え方が違って難しいものだ。 <p>○自分と異なった考えを持っている人がいたら、理解することはできますか。</p> <p><理解するのは難しい></p> <ul style="list-style-type: none"> ・他の人の考えを100%理解することは無理だと思う。 ・理解したつもりでも、本当に理解したのかは分からない。 <p><どちらとも言えない></p> <ul style="list-style-type: none"> ・簡単にはできないけど、絶対に無理ではないと思う。 <p><理解できると思う></p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分が必ずしも正しいとは限らない。 ・まずは相手の話を聞いてみようと思う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・タマゴマンが気付いたこと、発見したことを意識させて範読を聞かせる。 ・タマゴマンの視点から、物語を振り返らせ、人それぞれの考え方や感じ方があること、互いに理解することは難しいということを確認する。 ・ワークシートの心情スケールに自分の考えとそう思う理由を書かせる。 ・ネームカードを黒板に貼らせ、自分の考えを明確にさせる。 <p>心情スケールを用いて、自分の考えを明確にさせ、自分と異なった考えを理解することについて、自分との関わりで考えさせる。</p> <p>(自)</p> <p>補助発問を通して、自分とは異なる立場から再度考えさせる。</p> <p>(多)</p>

<p>展 開 35 分</p>	<p>6 それぞれの違いを認めることについて考える。 (個人 → 一斉)</p> <p>7 考え方の違いを知ること、それぞれの立場を尊重することの良さに気付く。 (一斉)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●今、いろいろな人の考えを聞いてどう思いましたか。 ●「理解できる」と思う人は、「難しい」と思う人の意見を聞いてどう思いましたか。 ●「難しい」と思う人は、理解しないままで、気持ちよく生活していけますか。 <p>◎それぞれの違いを認めるためには、どのようなことを考えていけばいいと思いますか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・相手の気持ちを考える。 ・まずは話を聞いて、相手のことを理解しようとする。 ・自分と考えが違うからといって否定しない。 ・人の嫌な所だけでなく良い所にも目を向ける。 ・心の余裕を持つ。 ●みんなのことを考えると、それぞれの意見を言わない方がいいのでしょうか。 ●自分が我慢したら、自分は認められたことにならないのではないのでしょうか。 ●100%理解することは難しいのではなかったですか。 <p>○みんなの考え方の違いを知ること、どういうクラスになると思えますか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・余計なめめ事がなく、平和に過ごすことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・違いを理解することは難しいが、このままでは良くないことに気付かせる。 <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p><評価> それぞれの違いを理解することについて、自分との関わりで考えようとしていたか。(自)【ワークシート・発言・ネームカード】</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>それぞれの違いを認めることについて、日常生活を想起させ、自分との関わりで考えさせる。(自)</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>補助発問を通して、個の尊重と相互理解の両面から考えさせる。(多)</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ・前発問の「難しい」と思う理由として出た意見も問い返しとして活用する。 <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p><評価> それぞれの違いを認めることについて、自分との関わりで考えようとしていたか。(自)【ワークシート・発言】</p> </div> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p><評価> 様々な立場の考えを聞き、いろいろなものの見方や考え方があることに気付いていたか。(多)【ワークシート・発言】</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ・考えを整理させるため、ワークシートに書かせる。 ・考え方の違いを知ること、それぞれの立場を尊重することの良さに気付かせる。
-----------------------------	---	--	--

		<ul style="list-style-type: none"> ・人と違っていいんだと安心して生活できる。 ・みんなが自分らしく居られるようになる。 	
終 末 10 分	8 人間としての生き方について考える。(一斉)	<p>○自分と異なった考えを持っている人がいたら、理解しようと思いますか。</p> <p>○本時を振り返り、ものの見方や考え方について考えたことを書きましょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・給食など小さなことでも、それぞれ考えが違うということが分かった。分かるようになる気持ちが大切だと思った。 ・それぞれ考え方が違うから、みんなが100%理解することは難しいけれど、そうなれるようにお互いに気を配ることはできると思った。 ・いろいろな人がいるけれど、どういう人なのかをお互いに理解して、みんなで上手くやっていけるといいと思った。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ワークシートの心情スケールに自分の考えとそう思う理由をもう一度書かせ、考え方の変化を振り返らせる。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>ものの見方や考え方について考えたことを振り返らせることで、人間としての生き方についての考えを深めさせる。(生)</p> </div>

(問) : 問題意識を持たせる

(多) : 多面的・多角的に考えさせる

(自) : 自分との関わりで考えさせる

(生) : 人間としての生き方について考えさせる

【評価】

<生徒の評価>

・それぞれの考え方や感じ方の違いを理解することについて自分との関わりで考えようとしていたか。

(自)【ワークシート・発言・ネームカード・観察】

・様々な立場の考えを聞き、いろいろなものの見方や考え方があることに気付いていたか。

(多)【ワークシート・発言・板書】

<教師側の授業評価>

・それぞれの考え方や感じ方の違いを理解することについて、日常生活を想起させ、自分との関わりで考えさせていたか。

(自)【ワークシート・発言・ネームカード・観察】

・発問や補助発問を通して様々な立場の考えを引き出し、いろいろなものの見方や考え方があることに気付かせていたか。

(多)【ワークシート・発言・板書】

